

Windowsでadbコマンドを使う方法! Android SDKを入れてパソコンのコマンドプロンプトから操作しよう



⌚ 2021.11.20 ⚖ 2018.07.28

この記事では、Windowsでadb環境をインストールする方法を解説します。

何かの操作で「adb環境が必要と言われた！」なら、ぜひ本記事をご覧あれ。

★ PICKUP

本記事はWindows向けの内容です。Macユーザーの方は、関連記事 [【Macでadbコマンドを使う方法! Android Studioを入れてmacOSのターミナルから操作しよう】](#)で解説しています。

関連記事



[Macでadbコマンドを使う方法! Android Studioを入れてmacOSのターミナルから操作しよう](#)

[続きを読む »](#)

装をお手頃価格で

▼カスタマイズの一例

- SDカードを内部ストレージ化する
- アプリをフルバックアップする
- 通常は消せないアプリをアンインストールする…etc

★ PICKUP

できるコトをまとめて、関連記事 [【adbコマンドのできること一覧! Androidをカスタマイズしよう】](#)で解説しています。

関連記事



[adbコマンドのできること一覧! Androidをカスタマイズしよう](#)

[続きを読む »](#)

なんだか難しそうですが、、プログラムの知識がない一般ユーザーであっても、割と簡単に操作できるツールとなっています。

Windowsでadb環境を構築する具体的な手順は、3ステップあります。

説明の流れ

- 手順① **Android SDKツール入手する**
- 手順② **adbコマンドのパスを通す**
- 手順③ **adbの動作検証をする**

以降より、順番に解説します。



装をお手頃価格で



手順①：Android SDKツール入手する

Google公式サイトからSDKプラットフォームツールをダウンロードします。

ダウンロード [Android Developers – SDK Platform Tools](https://developer.android.com/studio/releases/platform-tools)

The screenshot shows a web browser window displaying the "SDK Platform-Tools リリースノート" page from developer.android.com. The URL in the address bar is "developer.android.com/studio/releases/platform-tools". The left sidebar has a navigation menu with items like "機能の概要", "リリースノート", "Android Studio", "SDK コマンドラインツール", "Android Emulator", "SDK Build Tools", "Android Gradle プラグイン", "Android Gradle プラグインのロードマップ", "SDK Platform", and "SDK Platform Tools", where "SDK Platform Tools" is currently selected. The main content area is titled "ダウンロード" and contains text about how developers can obtain the latest SDK Platform-Tools via the Android Studio SDK Manager or the sdkmanager command-line tool. It also notes that the tools are stored alongside other Android SDK tools. Below this, a list of download links is provided for Windows, Mac, and Linux, with the Windows link being underlined and a red arrow pointing to it. The status bar at the bottom of the browser shows system information like the date and time.

装をお手頃価格で

Zipファイル名称「platform-tools_r31.0.3-windows.zip」が保存される。

ダウンロードしたZipファイルを展開すると、



装をお手頃価格で



これがSDKプラットフォームツールです。

このフォルダの保存場所を、Cドライブ直下などへ移動します。



装をお手頃価格で

この後の手順で、「platform-tools」を保存したディレクトリのパスが必要なので、コピーしておきましょう。

アドレスバーを選択した状態で、コピーすればOK。

例えばCドライブ直下に保存していれば、次のパスとなります。

C:\platform-tools



もし別の場所に保存した場合、上記とは異なるパスとなります。実際にご自身のパソコンで「platform-tools」フォルダを開き、パスをコピーして下さい。

手順②：adbコマンドのパス(Path)を通す

スタートボタン（Windowsアイコン）で右クリックメニューを開き、



装をお手頃価格で



システム、

システムの詳細設定 と進みます。



装をお手頃価格で

うまくメニューが見つからない場合、検索窓から直接”システムの詳細設定”と調べてもアクセス可能です。



装をお手頃価格で

システム環境変数の「Path」を選択して [編集](#) へ。



装をお手頃価格で

コピーしておいた、「platform-tools」フォルダのパスを貼り付けます。

例えばCドライブ直下に保存していれば、次のパスとなります。

```
C:\platform-tools
```



もし別の場所に保存した場合、上記とは異なるパスとなります。実際にご自身のパソコンで「platform-tools」フォルダを開き、パスをコピーして下さい。

装をお手頃価格で



後は **OK** を選択して画面を閉じれば完了です。

最後にパソコンを再起動して下さい。



装をお手頃価格で

手順③：adbの動作検証をする

adbコマンドが正常に動作するか検証します。

コマンドプロンプトを起動して、

検索窓で"cmd"と打つと、すぐ見つかる。

次のコマンドを実行します。

装をお手頃価格で

長々とコマンドが表示されれば成功です。

もし次のメッセージが表示される場合、正常に設定できていません。

特/手順)で紹介したシステム環境変数の「Path」が間違ってないかチェックして下さい

装をお手頃価格で

参考：Androidと接続してadbコマンドを実行する方法

実際にadbコマンドを実行する際、Androidと接続する手順を紹介します。

1. USBケーブルを用意する
2. 開発者向けオプションでUSBデバッグを有効にする
3. adb devicesで接続確認する

1. USBケーブルを用意する

パソコンとAndroidを接続するケーブルが必要です。

スマートフォンのUSB端子形状（micro USB / Type C）に合わせ用意しましょう。



装をお手頃価格で

[Amazonの商品レビュー・口コミを見る](#)

Amazon

楽天

Yahoo!ショッピング

a



[Anker USB Type C ケーブル PowerLine USB-C & USB-A 3.0 ケーブル Xperia/Galaxy/LG/iPad Pro/MacBook その他 Android 等 USB-C機器対応 テレワーク リモート 在宅勤務 0.9m ホワイト](#)

Anker

[Amazonの商品レビュー・口コミを見る](#)

Amazon

楽天

Yahoo!ショッピング

a

2. 開発者向けオプションでUSBデバッグを有効にする

Androidで 設定の [システム] から [開発者向けオプション] を開き、

▼

装をお手頃価格で

★ PICKUP

初めて開発者向けオプションを使う場合、デバイス情報の [ビルド番号] を連続タップして、メニューを表示させて下さい。

詳細は関連記事 [【Android「開発者向けオプション」の基本と表示/非表示にする方法まとめ! デベロッパー モードで隠れ機能を使おう】](#) で解説しています。

▼ 関連記事

装をお手頃価格で

USBデバッグを有効にします。

★ PICKUP

USBデバッグの特徴・リスクについては、関連記事 [【AndroidでUSBデバッグを有効にする方法! 設定を解除する手順やリスクを解説】](#) で解説しています。



関連記事

装をお手頃価格で

この状態でAndroidとパソコンをUSB接続します。

もしUSB接続の選択画面が出る場合、「ファイル転送モード」を選べばOK。



装をお手頃価格で

```
adb devices
```

次のようなメッセージが表示され、接続したAndroid実機を認識できればOKです。



xxxの部分は、そのデバイス固有の識別情報が英数字で表示されます。

List of devices attached

xxx(デバイス情報) device

装をお手頃価格で



なお初めて接続するパソコンの場合、Android側で下記メッセージが出るので、[このパソコンからのUSBデバッグを常に許可する](#)にチェックを入れましょう。

USBデバッグを許可しますか？

このパソコンのRSAキーのフィンガープリント：

装をお手頃価格で

一方、次のメッセージが出る場合、Android実機を認識できていません。



次の2点が原因であるケースが多いので、確認して下さい。

- AndroidのUSBデバッグを有効にしているか
- 「このパソコンからのUSBデバッグを常に許可する」にチェックを入れたか

★ PICKUP

adbコマンドの主要なエラーについて、詳細を関連記事 [【adbコマンドでエラーが出る原因まとめ! adb/fastboot devicesの認識されない問題を解決しよう】](#) で解説しています。

関連記事

[adbコマンドでエラーが出る原因まとめ! adb/fastboot devicesの認識されない問題を解決しよう](#)

[続きを読む »](#)

以上が、事前のAndroidとの接続手順です。

ここまで準備できれば、後は実際にadbコマンドを実行するだけ。



装をお手頃価格で



[続きを読む»](#)

参考：スマホのみでadbコマンドを使う方法

条件を満たせば、スマートフォン上の操作だけでadbコマンドを実行できます。

方法は、主に3パターンです。

方法	条件
①：USB OTG接続したAndroid同士でadbコマンドを実行する	2台目のAndroidが必要
②：ネットワーク経由で端末自身にadbコマンドを実行する(その1)	初期設定でPCが必要 ※再起動の都度
③：ネットワーク経由で端末自身にadbコマンドを実行する(その2)	root環境が必要

root環境があれば、完全にAndroid単体でadbコマンドを実行できます（方法③）。

通常の端末であれば、必ずどこかで2台目のAndroidまたはパソコンが必要です（方法①・②）。



装をお手頃価格で

方法①の例。2台目のAndroidからadbコマンドを送れる。

ちょっと条件が厳しいですが、パソコンがない状況でadbコマンドを実行したいニーズがあればご参考下さい。

詳細は関連記事 [【スマホのみでadbコマンドを使う方法! パソコンなしでAndroidを改造しよう】](#) で解説しています。

関連記事

[スマホのみでadbコマンドを使う方法! パソコンなしでAndroidを改造しよう](#)

[続きを読む »](#)

✗ : Androidをより高度にカスタマイズしよう!

以上、Windowsでadbコマンドを使う方法! Android SDKを入れてパソコンのコマンドプロンプトから操作しよう の説明でした。

パス (Path) を通す手順が面倒ですが、必要なのは初回だけです。



装をお手頃価格で

参考 [Android Developers – SDK Platform-Toolsリリースノート](#)

装をお手頃価格で